

月形町 議会だより

No.
39
2025.3.5



今年も声をいただきました。議会と商工会と建設業協会の皆さんとの懇談会（2月7日）

令和6年 第4回定例会	2
令和7年 第1回臨時会	9
道内行政視察報告	10
所管事務調査報告	12
活動経過報告	13
舞い降りて月形／編集後記	14



令和6年 第4回定例会

第4回定例会は、12月3日と4日の2日間にわたり開催されました。初日の3日には、5名の議員による6項目の一般質問が行われ、翌日の4日には、議案5件、承認2件、同意案1件、発議1件、意見案1件が審議され、すべて原案どおり可決・承認・同意されました。

審議内容 質疑応答

(一部抜粋)

令和6年度一般会計

ふるさと納税が増加

問 ふるさと納税額が4億5300万円増額となったが、増加している要因は。(松田)

答 米不足の影響で、米を選択した寄附が増加した。納税額全体の約9割が米を返礼品としたもの。(企画振興課長)



弁護士委託料は

問 総務事務経費の弁護士委託料について、再度、経過を説明してほしい。(東出)

答 令和3年の小学校の鉄棒落下事故への対応で、保護者が損害賠償請求について弁護士に依頼したため、町としても同様に弁護士を依頼した。費用は、町の総合賠償補償保険の対象外なので補正が必要となった。(教育次長)

入所事業の減額

問 老人福祉施設入所事業で1200万円減額補正の要因は。(東出)

答 養護老人ホームの措置人数が減っている。特別養護老人ホームへの移行や、病院への長期入院などが主な理由。他市町村も同様に減っている。待機数は少ないと聞いている。人口減少が理由であると思われる。(保健福祉課長)

起業者支援で

問 起業者支援事業で、補正を組んだ理由は。補正が常態化しないか、懸念している。(金子)

答 申請があつた5社のうち1社が、予定外の配水管工事の延長が必要になったため、やむを得ず補正を組んだものの。(企画振興課長)

同意案

■ 月形町固定資産評価審査委員会委員の選任

内藤康志氏(任期：令和7年1月23日から3年間)

意見案

■ 農業に関して、将来に希望が持てる次期基本計画の改訂などを国に求める意見書を提出。

月形町議会提出の

発議

■ 月形町ハラスメント防止条例の制定

自治体組織内(月形町議会と月形町)のハラスメント防止に向けた基本理念と対応方針を定めたものを条例として制定。安心して働ける職場環境をつくり、それぞれが役割を十分に発揮して、地域社会の健全な発展と町民サービスの向上が図られるように、ハラスメントの未然防止に努めます。今年から議員のハラスメント防止研修などを実施します。

5人の議員からの

一般質問

町政を問いました!

一般質問

観光



若井 昭二 議員

1. 道の駅に対するさまざまな声への対応と

経営方針は

《町長》 運営会議を開き、改善を進め、活性化を目指す

ため、時間をかけて見守って
いただきたい。

議員 高校生とのコラボレー
ションで開発したパス
タが、実際に提供されたもの
と大きく異なっていた点につ
いて伺いたい。なぜ、最初の
パスタが変更されたのか、そ
の経緯と、関係者への説明が
不足していたのではないかと
感じる。

議員 温泉のリニューアル
オープンに伴い、レス
トランに関する来訪者の声が多
く寄せられているが、その
対応と今後の経営方針につ
いて伺いたい。特に、レストラ
ンのサービスやメニューに関
する不満をどう改善するか。
また、今後の道の駅の経営方
針についても伺いたい。

議員 レストランの改善点に
ついて、私も現地を見
て改善された部分もあるが、
最初から対応できた部分も
あったのではないかと感じ
る。また、オープン時の花火
大会で、トイレが使いづら
かったという苦情も聞いてい
る。なぜトイレが使用できな
かったのか。また、料理に関
しては、その料金と見栄えに
違和感を感じる声も聞く。館
内に設置されたキッズルーム
については、利用は少ないも
の、お母さん方には好評と、
さまざまな意見はある。

町長 「道の駅275つきが
た」「月形温泉ゆりか
ご」は、リニューアルオープ
ン後、多くの来客を迎えたが、
課題も多く寄せられている。
月形町振興公社は定期的に運
営会議を開き、問題の改善に
取り組んでおり、メニューの
充実やサービス改善を進めて
いる。道の駅の経営方針につ
いては、目的に沿った活性化
を目指し、公社とともに努力
していく。

町長 トイレの件について
は、担当者も詳細を把握して
いないため、現時点では答え
られない。料理やサービスに
関しては、改善の余地がある
ことは認識しているが、現場
で改善に努めている

企画振興課 参考 月形高校と協
力して開発した
パスタメニューにつ
いては、当初のメニューと実際
に提供されたものには違いが
ある。その理由は、原価や材
料調達の問題で、現実的なメ
ニューに改良したため。この
変更については、高校側には
説明を行ったが、協力した飲
食店には十分に説明できてい
なかった部分があると認識し
ている。今後は、改良されたメ
ニューの意図をしっかりと伝
え、関係者間でのコミュニケーション
を強化したい。

が、現場で改善に努めている

2. 今後における除排雪の

支援について

《町長》 町民への補助、支援を行うことで、

業者にも間接的な支援になると考えている

議員 除雪業者への支援と除雪センターの人員確保

について伺いたい。近年、燃料の高騰や人件費の上昇により除雪業者が厳しい状況にあるため、町民や業者への支援をどう考えているか、また人員確保の対策についても伺いたい。

町長 除雪業者に対する支援については、町民への補助を中心に支援を行い、

それが業者にも間接的な支援となるよう考えている。除雪センターの人員不足については、従事者の高齢化や担い手不足が深刻な問題となっており、免許取得の助成や給与等の引き上げなどを行っているが、近年は労働条件を重視する傾向があり、人員確保が難しい状況である。今後も従事者の負担軽減や就業環境の改

善に取り組んでいく。

議員 低所得者に対する除雪費の助成が重要である。また、町営住宅の除雪に

関しても問題があり、空室が多くなり、入居している方々の除雪費用が高額になり、住民が負担できない状況もあると聞く。今後、そのような課題も考慮し、適切な対応をお願いしたい。

町長 ご指摘いただいた町営住宅の除雪に関しては、今後の課題として検討していく。除雪費用が高額にならないよう、さらなる支援策を検討し、町民にとって負担が少なくなるよう努める。

令和6年度

議会スナップ



南幌町はればを見学



新篠津の議員さんと一緒に視察
(水道議会)



月形初のムービングハウス
(新規就農者実習住宅)



緊張の初あいさつ…



温泉の改修も
完成までもう少し



パークゴルフ場の芝生は
どうかな？

一般質問

地域公共交通



滝口 伸 議員

町外に通学する高校生に、通学費などを助成してはどうか

《町長》 課題は認識している。バス路線維持のためにも、支援策を検討している

議員 本町では高校生の多くが町外の学校に進学しており、通学費や寮など住居費が、保護者にとって大きな負担となっている。以前から、通学費用の補助を望む町民の声があることは認識していると思う。

さらに、近年の物価高騰で、公共交通運賃などの値上げが家計を圧迫しており、子どもの進学を機に、町外への転出を考える方もいる。このような負担増が、子育て世帯が本町に住み続けるかを左右する、重要な分岐点になっている。

また、都市部への通学圏である本町に、通学支援制度があれば、移住やUターンを考える若者世代や子育て世代が、本町を選びやすくなるのではないか。

通学費への支援は、地域公共交通の利用を維持・促進し、交通網を維持するうえでも重要だ。有識者の方からも、利用者数の減少が地域公共交通を維持するための大きな課題と指摘されており、優先的に対応すべきと考える。

近隣の自治体も通学費の補助を始めている。本町でも、これらの事例を参考に支援制度を導入すべきではないか。

町長 指摘のとおり、本町では、高校生の半数以上が町外の高校に通学している。総合振興計画のアンケートや子ども子育て会議でも、通学費への助成を望む声が多く、先日も保護者から支援を求める申し出があった。公共交通への、子育て世代の経済的負担の高まりに対する支援の重要性と、子育て世代が本

町に定住するための重要な問題であることは認識している。

町内すべてのバス路線は、子どもの通学や、町民の日常生活に欠かせないことから、町民が安全快適に暮らせるように公共交通を維持していかなくてはならない。

公共交通の維持と定住促進を進めながら、子どもたちが、不安なく将来の選択をしていくために、通学費の支援を担当課で検討している。他市町と比較して、子育て支援の環境は整っているため、この支援制度は公共交通の維持という観点から、定住促進と子育て支援につながるものと考えている。

町民の声を受け、通学費の支援に前向きに取り組んでいることに感謝する。財源などいろいろ課題はあると思うが、できるかぎりの支援をお願いしたい。

寮など住居費の支援については、公共交通維持とは異なる観点の課題だが、現状では

対象となる子どもは少ないため、支援する金額は大きな財政負担にはならないと考える。もう一歩踏み込んで、寮など住居費の支援事業を創設してはどうか。

町長 下宿している生徒への支援は、指摘のとおり、通学費支援とは意味合いが異なる。町民の要望を聞きながら、町として必要性を判断し、違う形で支援を検討する。





東出 善幸 議員

月形温泉および道の駅275つきがたの 今後の体制は

《町長》 現状の体制で全体を盛り上げるよう努力する

議員 9月1日にリニューアルした月形温泉および道の駅275つきがたの新規オープンから3か月が経過し、9月の1か月で約10万人が訪れ、周辺施設の売上げも上がり、経済効果も見え始めている。キャンプ客にもたいへん好評で、一部のキャンプ客に聞いたところ、キャンプ場がきちんと整備されている、温泉が近くにある、札幌から約1時間の距離であるなどが、その理由であった。

一方で、想定以上の来訪者が来て、エリア内では対応しきれず、町内の一部飲食店では、受け入れがたいへんだつたとの声も聞かれた。これを契機として、町ぐるみで受け入れやおもてなしを行える体制を整えなければならぬと考えるが、いかがか。

町長 温泉リニューアルと道の駅の開所が相まって、多くの方に皆楽公園エリア内に足を運んでいただいている。しかし、想定し切れていなかったことや準備不足など、来場いただいた方に「不便やご迷惑をおかけしてきたところでもある。」

施設運営のサービス向上に向けて、日々改善しながら運営を行っているが、想定以上の来訪者でエリア内では対応しきれず、町内の一部飲食店では受け入れがたいへんだつたとの声も聞かれた。これは、温泉ゆりかご内のレストランにおいて、商品の売切れや提供までの時間、メニューの種類など、お客様の期待に十分応えられず、町内の飲食店に多くの来訪者が殺到してしまつたことではないかと推察

する。今後、お客様に迷惑をかけないよう、指定管理事業者である振興公社とともに検討し、業務運営改善を進めているところである。

また、道の駅における飲食サービスに対する評価や各店舗への影響等を把握するとともに、町全体の経済活動につながるように、町内飲食店がお互いに知恵を出し合い、相乗効果が生まれるよう取り組みを検討していく。

町ぐるみで受け入れやおもてなしを行える体制整備については、おもてなしといつても非常に広い意味を持ち、それぞれの考え方や感じ方があつると思うが、皆楽公園エリアに関わる方々が来訪者に対して施設の案内や町のPRなどに協力いただいております、自然とおもてなしの体制が生まれていると感じる。町としては、振興公社、皆楽公園エリアの事業者、住民の方々の協力を得て、皆楽公園エリアの魅力を高めていくことが重要と考え、現状で関わりのある方々と協力し、皆楽公園エリア全

体を盛り上げていくよう努力していく。

議員 相乗効果が生まれるよ
うな取り組みを検討する
と言われたが、商工会やJA、そして観光協会との連携が必須ではないかと思う。それは、来訪者が心地よく過ごせるよう心を込めて準備をし、最大限のおもてなしの気持ちを持って対応することだ
と思う。

町長 関係者と連携をして、町が音頭を取つておもてなしの雰囲気をもたせていくということも必要かとは思いますが、今のところ、現状の対応でリピーターが足を運んでくれる、そのように思っている。



一般質問

教 育



我妻 耕 議員

新教育長へ、年度残りの教育行政への取組みは

《教育長》 取組み、検討を進めていく。

月形の地域による教育力は、大きな財産！

議員 今年度残りの教育行政における事業の継承、実施において、まず学校教育について、こども園、小・中・高校における課題についての考えや取組みについて伺いたい。

教育長 今年度も小中学校ともに主体的対話的で、深い学びの実現に向け、授業改善を進めて、時間講師や外国語指導助手の配置・活用によって、学力の底上げを図ってきました。次年度に向けては、それぞれの学習状況や学習意欲に応じて、自発的に学習に取り組むことができるコンテンツの導入なども検討していきたい。さらに、こども園を含めて、月形町としての一貫した人材育成、統一カリキュラムの作成に向けての取組みを進めていきたい。

月形高等学校については、先日、道教委を訪問した際に月形高校が進路などで成果を上げ、地元の優秀な子どもたちが月形高校に入学を志望するようになることで、存続は十分可能であるとの認識が示された。引き続き、近隣地域の中学校に働きかけるなどの取組みや、月形高校への支援を継続するとともに、月形高校の取組み成果に期待していきたい。

議員 社会教育では、これから人口減、高齢化、利用者減の中で、それぞれの事業への取組み、また、負担が大きくなっている社会教育施設の管理などについて、どのようにお考えか。

教育長 社会教育では、青少年健全育成や生涯学習

の推進では、おおむね計画どおりに進めることができた。また、空席となっていた社会教育指導員の配置や、図書館の運営、またスポーツ活動や文化芸術活動の取組みなども進めてきた。特に樺戸博物館は、道の駅設置の相乗効果もあり、入館者が増加した。課題は、各種取組みやイベントの参加者が固定化する傾向も見られ、指摘のとおり、人口減、高齢化、それに伴う利用者減の中で、事業や施設整備の持続可能な在り方を総合的に検討していく必要があると考えている。

議員 教育長は、いろいろな経緯があり、月形の子どもたち、大人たち、地域、教育への取組みなど、月形の素晴らしいところや魅力は何であるとお考えか。

教育長 実は近隣の市町村であり、落ち着きのない中で授業が進んでいく状況が、散見されるようになってきている。

また、就学前の子どもは集団でもまれるということがなくなり、発達の偏りが修正されないまま小学校入学を迎える状況が見られる。文科省が奨励しているタブレットを使った学習は、効果もある一方で、集中しづらいという問題もはらんでいるという。

しかし、月形の子どもたちの授業を見たが、素直さは相変わらずしっかりと持ち続け、見事に授業に集中して取り組んでいた。タブレットを使った学習においても、低学年の子どもも集中して取り組んでいた。私が月形中学校長だった10年ほど前にも感じたが、その素晴らしいさをいっそう感じたところである。これは、周辺の方々が皆顔見知り、自分の存在感を自然に持てるようになるという、大人との関わりが比較的多い環境があり、また、そのことで言葉の力が身につけていると感じている。これこそ、地域の教育力であり、月形の特筆すべき財産であると考えている。



松田 順一 議員

中間市との友好姉妹市町の締結は 考えられないか

《町長》今のところは、考えていない

一般質問 交流

議員 月形町の友好姉妹町村の交流は、平成4年に、

当時の新潟県月潟村と友好姉妹町村が締結され、相互の町民、村民がお互いの町を訪れ、交流してきた。また、農産物をお互いに販売し、交流している。ただ、月潟村は、平成17年の平成の大合併で、新潟市南区に編入され、それに伴い、月潟村との友好姉妹町村の締結は解消された。

また、中間市については、前町長の櫻庭氏が月形潔の生誕の地である福岡県中間市中部井野を訪問し、交流するようになった。「月形潔をしのぶ集い」の交流会には、中間市の方々が遠方より来ていただいている。また、中底井野には月形潔の銅像も建立され、記念式典には本町からも町長、議長、副議長も出席し

た。しかしながら、中間市とは友好姉妹市町の締結には至っていない。今後、新潟市と中間市との交流について、町長はどのように考えているのか、伺いたい。

町長 新潟市月潟地区との交流については、月潟村が新潟市と合併した平成17年3月以降も継続することとし、協定書を交わしている。児童交流は、児童数の減少によるホームステイの受け入れの難しさや新潟市の補助金の削減などもあり、令和3年度の、第30回記念式典に合わせ、訪問による児童交流は終了した。令和4年度からは月形小学校と新潟市月潟小学校が総合的な学習の時間を活用し、オンラインによる交流を実施している。物産交流については、本町において、月潟

地区の特産品を中心に、町内での販売会を実施しており、本町の特産品についても、新潟市南区月潟まつりの会場で販売会を行っている。

福岡県中間市の交流については、一昨年度まで実施していた物産交流では中間市にある新鮮市場さくら館においての取扱いが困難ということになり、一部商品のみを取扱いと なっている。また、樺戸監獄物故者追悼式には中間市の月形潔学習会の方々が来て、数名出席していただき交流している。両市町の小学生がお互いの市町を学習しあう交流も令和4年度から行われている。

今後の交流について、新潟市月潟地区との交流は、新潟市および月潟コミュニティ協議会との連携を密にしなが ら、現在の交流を継続していく。また、10月には新潟市南区の白根、味方、月潟地区で構成されている新潟市南商工会の方が本町を訪問され、月形町と新潟市南区の3地区の特産品を取引きできる関係性

を築きたいとして、協議を行っており、町としても協力していく考えである。

福岡県中間市とは、今後の事業の進捗によっては、さらなる交流推進を検討する。

議員 友好姉妹市町締結をしないと、今後、相互の人的交流は深まらなないと考えられる。月潟地区は新潟市南区になったので、困難かもしれないが、中間市との締結は可能なのではないか。

町長 今のところは考えていないが、今後の成り行きによっては、必要かと思ふ。



令和7年 第1回臨時会

第1回臨時会は、1月15日に開催され、議案4件、同意案1件、発議1件、会議案1件が審議され、すべて原案どおり可決・承認・同意されました。

人事院勧告にもとづいて、それぞれの給与・手当等の引上げ

◎令和6年度月形町一般会計補正予算について

12月に支給される期末手当の支給割合を一般職は0.05月分引上げ、

定年前再任用短時間勤務職員は0.025月分引上げとし、12月に支給される勤勉手当の支給割合は、定年前再任用短時間勤務職員も同様とする。期末手当および勤勉手当を合わせたボーナスの年間支給割合は、一般職員で0.1月分、定年前再任用短時間職員で、0.05月分の引上げとする。常勤特別職の職員の勤勉手当や職員の寒冷地手当も引き上げる。令和6年4月1日から適用。

（議会・議員関係）
月形町常勤特別職の期末手当と同様に人事院勧告に基づき、期末手当を0.1月分引き上げるもの。令和6年12月1日から適用。

あわせて、介護保険事業特別会計と町立病院事業会計においても同様に職員の給与、手当等を引き上げる。

◎月形町固定資産評価員の選任

村瀬 潤一氏

期末手当	現行	改定後	差額
議長	634,500	662,700	28,200
副議長	513,000	535,800	22,800
委員長	461,250	481,750	20,500
議員	420,750	439,450	18,700

*期末手当は、上記の金額を6月と12月の2回に分けて支給される。

議会は公開されています

傍聴の方法は二つ

- 1 生の迫力ならば 役場3階の議場の傍聴席で
- 2 モニター中継で気軽に 役場1階の町民サロンで

定例会などの開催予定や傍聴に関してお気軽にお問い合わせください
議会事務局 ☎53-2321 (内線372)



椅子に座ってゆっくり傍聴できます



除雪もきれいにしてあります

町民サロンでも
傍聴できます

お気軽に傍聴してください



多様な視点が
反映されないよね…

立候補者がすべて
50歳以上の男性って
どうなんだろう

無投票選挙が
増えているけど…

考える

議会の未来を考える

議員のなり手不足、現状と課題

令和5年4月に行われた月形町議会議員選挙では、立候補者がすべて50歳以上の男性であり、多様な視点が十分に反映されているとは言えません。さらに、定数8名のところ1名の欠員が発生する無投票選挙でした(令和6年9月の補欠選挙で、定数となったが、無投票)。このような状況では、議会が本来の合議制機関としての機能を十分に発揮できず、町の将来を見据えた議論の幅が狭まる可能性があります。また、首長や行政に対する監視機能の低下も懸念されます。

加えて、無投票が続くと、住民の間で「選挙がなくても問題なく町政は動く」という認識が広まり、選挙の重要性が薄れてしまい、大きな混乱もなく町政が進行しているように見えるため、住民の主権者意識や自治意識が徐々に低下してしまうのではないかと—こうした危機感を抱いています。

そこで、今回は議会活性化に成功している北海道の別海町と浦幌町を訪れ、視察研修を行いました。今後、この学びを活かし、月形町でも議会の活性化に向けた取組みを進めていく必要があります。

この問題は、町全体に関わる重要な課題です。これから議会が取組みを進めるなかで、住民の皆さんにも一緒に考えていただきたいと思います。

日時	令和6年11月5日～7日
視察先	野付郡別海町、十勝郡浦幌町
目的	議会活性化の取り組みを学ぶ
参加議員名	大釜 登・我妻 耕・松田順一・東出善幸 若井昭二・滝口 伸・西山富夫
参加事務局	柴田理江・桑原祥之

別海町議会 (11月5日)

別海町では、町民の議会への関心の低さや議員のなり手不足を課題とし、平成26年度から対策を開始しています。次の活性化策により、議員の改革意識が進み、町民の議会への評価も向上しました。

議会報告会 回数を増やして町民の声を反映する	議会基本条例 条例で議員の活動や議会活性化を明確にする	議会サポーター 大学教授など専門家のアドバイスを受ける	議会モニター 町民に議会を監視・評価してもらう
一般質問検討会議 議員個々の質問を、議会全体で練り上げて、質を上げる	議員定数調査特別委員会 令和6年3月に設置し、定数と報酬の見直し	議会BCP 議員は災害時にどう動くかを決めておく	



タブレット端末
デジタルで効率的に活動する

これから重点的に取り組むことは…
情報発信の強化、ICT活用推進、委員会構成の見直し、政策判断サイクルの見直しなど



住民の主権者意識や自治意識が低下してしまう

合議制機関として機能しなくなるかも…

首長や行政の監視機能が低下してしまう



議会の未来を

研修を通して…

議会を活性化するためには、①広報広聴(多様な町民の声を聴く、議会を知ってもらう)、②議会の活動を体系化することで、ガバナンス(管理体制)を強化する、③議員同士が協力して、議会の権限をより発揮する、④DX(デジタルトランスフォーメーション)などに取組み、効率的に活動する、これらを段階的に取組み続け、必要に応じて見直すことが大切であると再認識しています。

また、今回の視察を通じて、月形町議会においても、若手や女性議員の参画を促す施策を積極的に進める必要があると強く感じました。別海町・浦幌町で得た知見を活かし、議会の活性化に向けた取り組みを実践していきたいと思います。



最後に、お忙しいなか視察を快く受け入れてくださった別海町・浦幌町の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

別海町・浦幌町の視察から

浦幌町議会 (11月6日)

浦幌町議会では、平成11年から議会活性化の議論を開始し、現在まで多角的かつ町民に開かれた議会活性化に取り組んでいて、たいへん多くの成果をあげています。

議会基本条例

議会活性化を明文化して議会全体で取り組む

議会モニター

町民の声を聴き、外部評価してもらう

傍聴の推進

小中学生や学生に傍聴してもらう

チーム議会

議会全体として、二元代表制を最大限活用する

一般会議

商工会や農協など団体との懇談会

日曜議会・ナイター議会

平日の日中に傍聴できない町民に向けて

町民アンケート

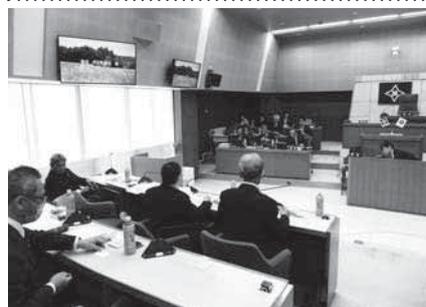
議会の改善点やなり手不足、防災についてアンケート調査

まちなかカフェ DE 議会・まちなかおじゃま DE 議会

議員が出向いて、町民と気軽に意見交換する

これから重点的に取り組むことは…

議会運営の管理体制(ガバナンス)を重視し、議会の活動を体系化(バラバラなものを秩序や規則に基づいて、まとめてわかりやすく)して、議会の権限を有効活用した議会運営を行おうとしている。また、身の丈に合った議会活性化を心がけていると述べられていた。



報告

令和6年度

まちづくり常任委員会 所管事務調査

今年度も、まちづくり常任委員会において、役場各課の事務、事業について、担当者より説明を受けました。質疑応答や現地視察などを行うことにより、課題などをとらえ、対策の究明にあたることにつながっています。

令和6年6月19日

企画振興課

●「つち工房」指定管理状況について

2軒（現在は3軒）の町内農業者が立ち上げた株式会社ユニティファームが、令和5年度4月から管理、活動をしている。ミニトマトの栽培、いちご狩り、農園内の見学など、そして管理棟では直営の店でおにぎりや米の販売をしている。今後は、町内産の農作物を用いた商品開発も検討している。



●町民保養センター等改修事業について
令和6年9月にオープンを予定している町民保養センター等の改修工事の状況を視察、調査を行った。



令和6年7月17日

教育委員会

●社会体育施設（多目的アリーナ・野球場・パークゴルフ場）の運営状況について
収支状況や現状と課題などの説明を受ける。3施設は、営利を目的としたものではなく、公共的な役割を持ち、また老朽化が進み、今後適切な修繕・改修で維持管理を行うとのこと。今後、収支の改善、利用者数の向上、利用料金の見直し等が課題である。

●スクールランチ試食会

これからの町内学校給食の在り方を検討するにあたり、民間事業者による「スクールランチ」についての理解を深めることを目的とした試食会に参加した。

令和6年9月13日

保健福祉課

●第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画について

アンケートから見えた課題として、「介護予防の啓発と予防事業の実施」「サービス基盤の維持と生活支援の充実」「早期対応のための地域ネットワークづくり」などがあげられた。

●学童保育所の運営状況と課題について（現地視察）

現状の課題として、支援員の確保、学童保育所の環境（スペースが狭い）、配慮を必要とする児童の増加、おやつへの調達（量、内容）などがある。今後の課題は、義務教育学校開校後の通所時の安全確保（学校から遠くなる）、遊び場検討などがあげられた。



令和6年10月29日

企画振興課

●中央バス月形線代替交通について
令和7年4月1日より運行開始する、岩見沢月形線の代替バスについての検討。運行事業者や車両、運賃、ダイヤ、バス停、運行経費などについて説明を受ける。

農林建設課

●新規就農実習者用住宅について
近年、応募が好調の新規就農実習等の受入れもあって、老朽化した新規就農実習者用住宅(旧教員住宅)に代わり、ムービングハウス(トレーラーで運搬できるもの)2LDK2戸を設置。



住民課

●農業集落排水事業(経営状況等)について
月形地区、市南地区のし尿と生活雑排水を浄化する施設を運営する農業集落排水事業について、課題としては人口減による財源不足と維持管理費の増加や污水管の老朽化。今後、経費節減のため市南地区の月形地区への統廃合を検討している。

総務課

●スマートフォン普及拡大支援事業について
IP電話の運用廃止予定にともない、スマートフォンを保有していない65歳以上の高齢者が、新たにスマートフォンを取得

した場合に商工会商品券を贈呈している。これまでのJCSマートアプリに加えて、公式ラインの運用開始やスマホ教室の開催などにつき、説明を受ける。

●次期公共施設等総合管理計画の策定について
現在、町内における公共施設等の利用率は減少し、施設の老朽化による維持管理費は増加している。そのため、施設の縮減も踏まえて、公共施設等の最適な配置を実現するため、令和8年度から10年間にわたる次期公共施設等総合管理計画を策定する。実施された町民アンケートも参考に、今後庁内検討会議の開催、外部組織や町民からの意見も求めて、策定されることになる。

令和7年2月5日

農林建設課

●農産物の生産動向(令和6年産)について
現在判明している令和6年産の農産物の状況について説明を受ける。米については単価の上昇、野菜については作付け戸数や作付け面積の減少がみられた。

町立病院

●町立病院の運営状況について
医師2名体制でスタートした令和6年度の町立病院、診療科目については精神科が加わり、病院運営全体的に良い効果が現れているとのことである。今のところ、外来患者は微減で、入院患者は10月、11月と病床利用率が向上してきている。

●住宅関連推進事業(住宅マスタープラン及び町営住宅長寿命化計画)について
令和7年度から月形町住生活基本計画(第3次マスタープラン)によって、総合的な住宅政策の推進と、公営住宅等の長寿命化も含めて適切な活用を目指すものとなる。

活動経過報告

- 1月5日 月形消防出初式
- 10日 月形町新年交礼会
- 11日 二十歳を祝う会

15日	令和7年第1回臨時会
"	全員協議会
21日	まちづくり常任委員会
"	全員協議会
30日	広報特別委員会
2月5日	まちづくり常任委員会
"	広報特別委員会
7日	各種団体等と議会の懇談会
13日	全員協議会
"	議員研修会
"	広報特別委員会
14日	広報特別委員会
20日	広報特別委員会
21日	議会運営委員会
25日	各種団体等と議会の懇談会

太字：基本全員参加
議長のみ単独会務については省略

このほか、監査、月新水道企業団、空知教育センター、岩見沢地区消防事務組合など、それぞれの議会などへ随時担当職員が参加・派遣され、活動を行っています。

第6回

舞い降りて月形
住んで、見て、
感じた月形は！



あやの 桃野 綾乃さん
ももの 管理栄養士 月形町立病院

今回の「舞い降りて月形」は、弟子屈生まれで、札幌にお住まいだった桃野綾乃さんです。2020年4月から、月形町立病院の管理栄養士業務を担当しており、現在は会計年度任用職員として勤務されています。

- ◎ 栄養士になったきっかけは？
- ◎ 栄養士としてやりがいを感じる瞬間は？
- ◎ 患者さんから「美味しかったよ」「ありがとう」と言われると、やりがいを感じます。
- ◎ 逆に、大変なことは？
- ◎ 献立を考えるときに、カロリーや栄養と患者さんの好みのバランスをとるのに苦労します。
- ◎ 月形町に住んでみて、最初に驚いたことは何ですか？
- ◎ 団地の出入り口に玄関フー

ド（風除室）がないことですね。冬は雪が建物の中に入り込んでしまうことに驚きました。

◎ 少し不慣れだと感じることはありませんか？

◎ 若い同世代の人と出会う機会が少ないと感じます。また、月形の情報がネットであまり出てこないのも、もっと町の魅力が発信されるいいなと思います。

◎ 月形町の特産品で印象に残ったものは？

◎ メロンを実際に食べてみたらすごく美味しくて驚きました。特に「キングメルティ」が甘くて美味しかったです。また、トマトジュースも苦手ですが、月形のもは飲みやすかったです。

◎ 町のイベントには参加されましたか？

◎ 花火大会を団地から見ることができました。会場で見たらもっと迫力がありそうです。

「インタビューを終えて」

今回の取材では、食事の大切さをあらためて認識するものとなりました。患者さんの食について、努力を惜しまない素晴らしい人材が町立病院にいてくれることに感謝いたします。これからも人材に投資することを惜しまず、熱意のある方を職員として迎えることができると願っています。



◎ ですね。他にも地元の収穫祭などが気になります。

◎ 趣味は何ですか？

◎ 食べ歩きとドライブが好きです。新しいお店を見つけたり、道の駅巡りをしたりするのが楽しみです。

◎ 今後の目標は？

◎ もっと美味しく食べてもらえる献立を考えたいです。食事を通じて健康を維持することができるのが理想なので、食事で栄養を補えるように工夫したいと思っています。

広報特別委員会

- 委員長 松田 順一
- 副委員長 我妻 耕二
- 委員 若井 昭二
- 委員 滝口 伸

12月は、「また除雪かよ」と憂鬱の日々でしたが、1月は除雪の苦痛から解放され、ほっとしました。お知らせですが、「議会だより」が年4回発行になります。私たち広報委員の負担は増えますが、町議会の取組みに興味を持ってもらえると嬉しいです。（若井）

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53-2321 FAX (0126) 53-4373
E-mail : gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp